



こころの虹

か・け・は・し

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKCRO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net> ♥Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 49 2022年07月 発行



院長

挨拶

及川 達司

Tatsuji Oikawa

医療法人にゅうわ会
及川病院 院長

最近テレビのニュースを見ながら思うのは、「バッドニュースしか、ニュースと言わないのか？」ということです。ここ数年トップニュースは来る日も来る日も『新型コロナウイルス』、少し収まった頃にロシア侵攻が起きて毎日毎日『ウクライナ』。勿論、とても大切なことで私たちは知っておくべきことなのですが、「もう少し、他に何かないのか」というのも、私の本音です。番組後半のスポーツコーナーでの大谷翔平選手の二刀流活躍報道が一番の楽しみになってしまったのは、良いことなのでしょうか？

もう一つ、報道の「仕方」で受け取り方が違ってしまふな、ということも感じています。新型コロナ問題が始まった頃、医療機関の不協力みたいなことがしばしば言われましたが、現場の実際は違います。最近では、マイナンバーカードを使っただけの受診促進が、患者様の負担金が増えるということにスポットが当てられたりしました。事実あまり進んでいませんが、目的や効果をもっとみんなで共有できるよう、国も医師会も情報発信していけばいいのになあ、と思ってしまう。当院のスタッフたちも、自分たちにできる情報発信を一生懸命考えてくれています。例年の母の日キャンペーン、ピンクリボン活動、昨年始めたAYA、それに今年は緩和ケア啓発活動のオレンジバルーンを加えました。ピンクリボンアドバイザー育成にも力を入れています。

「伝えたいことを正しく」、私たちの使命のひとつだと考えています。



チームでの活動

及川病院では医師を含む職員がチームに分かれてがんの啓発活動を行っています。今年はオレンジバレーンも加わり4チームでの活動となりました。

AYA Weekチーム March

AYA Weekを知っていますか？AYA Weekとは「若い世代とがん」の今を、世の中に発信していく1週間です。3月には全国で、がんの正しい理解や若い世代の未来を願い、SNSやWebサイト、オンライン配信や各地でのイベントが展開されました。当院も「つなぐ、伝える、広がる、AYA世代応援WEEK」をテーマに乳がん検診やサバイバーシップケアを中心にイベントを行いました。イベント期間中は院内にポスター等を貼り、外からもキャッチフレーズが見えるように装飾を施しました。



AYAとは15～39歳世代を意味します。『平日は学校や子育て等で忙しく、乳がん検診を受ける時間がない』という方にも来て頂けるよう、イベント期間中は日曜検診も実施しました。

他にもサバイバーシップケアの取り組みとして、HBOC（遺伝性乳がん・卵巣がん症候群）、治療後後遺症としてのリンパ浮腫についての連載記事をインスタグラムに掲載、治療前後の妊孕性についてはパンフレットを作成し配布しました。期間中はたくさんのAYA世代の方に検診を受けて頂くことができ、乳がん検診の重要性を認識して頂けたのではないかと感じています。

母の日チーム May

母の日チームでは、5月の母の日にちなんで『乳がん検診 母の日キャンペーン』を開催し、乳がん検診の早期受診を推進する啓発活動を行いました。

今年は『つなげよう 大切な人への 検診バトン』をコンセプトとし、ご本人はもとより、大切なご家族やご友人にも乳がん検診をすすめてもらうことで検診の輪が広がり、あなたの大切な人を乳がんから守ってほしいという思いを込めています。

主な活動は、近隣の店舗へポスター掲示やチラシ設置の協力依頼、ポケットティッシュの配布、そして今年はインスタグラムでの発信を行うなど周知活動に力を入れました。

また期間中、乳がん検診を受けられた方にはチームで作成した乳がんに関する情報冊子をお渡しし、アンケートでは「冊子が分かりやすく良かった」「知らずに検診しましたが、嬉しいです」「楽しいアイデアと思いました。資料も娘に見せられます」などのお言葉を頂きました。

及川病院独自の活動である母の日キャンペーンですが、この小さな活動が一人でも多くの方の目に留まり、乳がんについて少しでも関心を持っていただけるようより一層取り組んで参ります。



ピンクリボンチーム October

及川病院では、毎年10月にピンクリボン月間として、乳癌を早期に発見できるよう検診の啓発活動を行っています。院内ポスター掲示や街頭活動などを通じて活動を行っていましたが、COVID-19の流行のため近年街頭活動は行えませんでした。乳がん検診率向上に向けて、今年は「日曜日の乳がん検診」「期間限定Instagramで活動紹介」、その他新たに「企業とのコラボ企画」「ピンクリボンアドバイザーの育成」の準備を進めています。また期間中は今年もピンクリボンなどをライトアップする予定です。キャッチコピーは昨年引き続き『今の行動で未来が変わる。受けよう乳がん検診』です。乳がん検診により多くの女性が関心を持っていただけるよう今年もチーム一丸となり活動いたします。

【日曜検診】

《及川病院》

10月16日(日)9:00～12:00

自覚の症状のない方を対象に超音波検査・マンモグラフィー実施
全国イベントJMS(ジャパンマンモグラフィーサンデー)



《六本松乳腺クリニック》 10月30日(日)9:00～12:00

自覚の症状のない方を対象に超音波検査・マンモグラフィー実施
全国イベントJMS(ジャパンマンモグラフィーサンデー)

オレンジバルーンチーム October

オレンジバルーンプロジェクトに参加します
オレンジバルーンプロジェクトとは・・・

「緩和ケア」の正しい知識を持つことを目的として、厚生労働省が日本緩和医療学会に委託した緩和ケア普及啓発事業です。

オレンジバルーンには次のような思いが込められています。

○暖かい色であるオレンジには、すべての苦痛症状をほんわりとやわらげたいという思いが込められています。

○バルーンに描いた顔には、緩和ケアにより、バルーンに描かれたような表情に患者さんと一緒になりたいという思いが込められています。

○メッセージには、緩和ケアががんの治療を支える「もう一つの大切なアプローチ」であることを、正しく理解してもらいたいという思いがこめられています。

(緩和ケア.netより引用)

当院もオレンジバルーンプロジェクトに賛同し、緩和ケアについて正しく知ってもらえるよう活動を行います。今年、ホスピス緩和ケア週間のある10月に緩和ケアについての冊子を作成し、来院された患者さんに手に取っていただけるよう計画しています。また、NPO法人「スマイルハート」とコラボして、がん患者さんをネイルチップで笑顔にする企画も進行中です。

職員も乳がん検診！！

当院は乳腺専門病院なので定期の健康診断時に職員の乳がん検診を行っていたこともありましたが、外来診療に影響することから実施しなくなっていました。しかし、職員がまず健康であること、そしてブレストアウェアネス(自分の乳房の状態に日頃から関心を持ち乳房を意識した生活を送ること)を実践することが大切ということで、昨年度より希望者の乳がん検診を行っています。

実施時期は集中しないように6月～12月としました。オーダーリングシステムを使って検査技師や放射線科技師が、外来診療に影響が少ない時間帯の枠を職員用として確保してくれるので、各自が検査予約を入れて実施しています。自院以外で乳がん検診を受けている職員も入れると40歳以上で88.6%、39歳以下も88.4%の職員が乳がん検診を受けることができています。日本の乳がん検診率は43.7%(2019年度国がんデータ)で先進諸国の中でも一番低い状況です。その中でも福岡県は乳がん検診率全国37位です。乳がん検診を受けて早期発見できたり、異常がないことで元気に生活できることを職員から発信できればと思います。

緩和ケア便り

今年も七夕の季節となり、緩和ケア病棟では3本の竹に七夕飾りを行いました。毎年患者様、ご家族様に短冊を書いていただいています。今年もたくさんの短冊が揃い色鮮やかで素敵な七夕になりました。みなさまの願いが叶いますように。コロナ禍で制限の多い入院生活ですが、緩和ケア病棟では季節に応じた飾りつけやイベントを行い、少しでも季節を感じていただき、楽しんでいただけるように取り組んでいます。



栄養科便り

七夕の夕食にオリジナルデザートを作りました。三温糖の寒天をベースに、フレッシュフルーツと黒豆をトッピング、最後に黒蜜ソースをかけて患者様に召し上がっていただきました。調理師曰く「夏の鴨川納涼床で食べているイメージで作りました」とのこと。さっぱりした甘さの寒天に甘酸っぱいフルーツとしっかり甘い黒豆、3種類の異なった甘さの良いハーモニーを醸し出していました。



☆フルーツ寒天☆

材料(6人分)

水 300ml

粉寒天 2g

三温糖 30g

黒砂糖 10g

水 5g

お好みのフルーツ
(又はフルーツ缶)

①鍋に寒天と水を入れ、中火にかけて混ぜながら溶かし、沸騰させる。

②①に三温糖を入れ、混ぜながら煮溶かす。

③容器に移し冷蔵庫で冷やす。

④《黒蜜作り》黒砂糖と水を混ぜながら煮溶かし、冷ます。

⑤寒天に④の黒蜜をかけ、カットしたフルーツをトッピングする。

令和3年統計

○令和元年 手術件数

全身麻酔・・・438件

局部麻酔・・・27件

センチネルリンパ節生検・・・238件

乳腺腫瘍摘出手術(直径5cm未満)・・・46件

乳腺腫瘍摘出手術(直径5cm以上)・・・6件

Bp・・・19件

Bt・・・3件

Bp+SLNBx・・・127件

Bt+SLNBx・・・97件

Bp+Ax・・・8件

Bt+Ax・・・29件

リンパ節群郭清術・・・3件

乳管腺葉区域切除術・・・3件

胸壁悪性腫瘍摘出術・・・4件

ポート造設・抜去・・・25件

○外来患者数

79.2人/日

○入院患者数

26.9人/日

○手術件数

全体465件<悪性腫瘍手術(原発)275件>

○平均在院日数(過去1年)

・乳腺一般病棟 8.2日

・緩和ケア病棟 38.7日